

特定非営利活動法人

市民ユニットりぼん

第10回総会議案書
2008年度

議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 資格審査
4. 議長・議事録署名人 選出 及び 書記任命
5. 議事審議

第1号議案 2007年度事業報告及び収支決算の件

I. 2007年度事業報告

II. 2007年度収支決算

III. 2007年度監査報告

第2号議案 2008年度方針案及び事業計画案
及び収支予算案の件

I. 2008年度事業計画案

II. 2008年度収支予算案

第3号議案 理事選任・辞任の件

第4号議案 代表理事報酬の件



開催日時：2008年5月17日（土）10:00～12:00

交流会 13:00～14:30

開催場所：横山南市民センター2F 多目的

第1号議案 2007年度事業報告及び収支決算の件

I. 2007年度事業報告

◆ 定款に沿った活動を行いました。

(目的)

第3条 この法人は、市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、第3条の目的を達成するために、次の種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) まちづくりの推進を図る活動
- (3) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- (4) 子どもの健全育成を図る活動

(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するために、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。

- (1) 在宅自立援助に関する事業
- (2) 介護保険居宅介護支援事業
- (3) 介護保険訪問介護事業
- (4) 介護保険通所介護事業
- (5) 介護保険予防訪問介護事業
- (6) 介護保険予防通所介護事業
- (7) 障害福祉サービス事業
- (8) 地域生活支援事業及び移動支援事業
- (9) 親子つどいの広場事業

1、事業報告

①2007年度方針の達成度

- ・本人の望む生活の理解と支援 / 概ね出来た
- ・本人が安心して介助が受けられるような技術の獲得 / 概ね出来きた

②事業実績

事業名	月次ケア目標時間数	2007年度実績（月平均）	従業者の人数
介護保険訪問介護	450h	473h	常勤 2
障害福祉サービス	340h	316h	非常勤 34
移動支援		22h	
ACT 提携	260h	208h	
クリーン隊			
合計	1050h	1019h	

③評価と課題

目標	評価	課題	対策
責任あるサービスを行います。 ①危険管理、危機管理、課題解決を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・事故報告、ヒヤリハット報告の提出は浸透している。 ・ケア予定の事前チェックは行えている。 ・仕事カードの更新については細かな部分で出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員での共有が出来きれていない。 ・チェック後の変更に対しての漏れが発生する場合がある。 ・緊急時、担当が替わった場合、適切なケアが出来ない事が発生する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会等で時間を作り、事故・ヒヤリはつとの検討会を行い、再発の防止に努める。 ・変更箇所については前日のチェックも行う。 ・適時、更新する。
責任あるサービスを行います。 ②職員の働きやすい環境整備。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前研修の実地は行えた ・年度後半、サ責の不在が多く発生し、メンバーからの電話、報告に対して早急の対応が出来切れなかった。 ・チーム会議の開催が出来切れなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応の遅れからケアに支障がおきる。 ・チームでの共有が出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サ責の一人は必ず在席できるようにする。 ・人員を確保することで、サ責のケア時間を減らし、従来の仕事に専念できるようにする。
職員の介護技術、及び問題意識の向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談が出来なかった ・年2回の必須研修の開催は出来た。 ・月2回の学習会は開催できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必須研修へ100%は出来なかった。 ・月2回開催してきたが、出席者が決まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席への強い声かけ。特に義務点けられている年2回の研修については必要性を再確認し、意識の向上を目指す。 ・ハンデイをつけることを検討する。
利用者のニーズを的確に介護計画に反映し、実行します。	<ul style="list-style-type: none"> ・状況変化の多い利用者が増えてきた。 ・チーム会議の開催が出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催の日程調整が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早い時期で日程調整を行う ・ケアの少ない土、日の開催する。
課題については「サービス担当者会議」等で共有し、解決に努めます。	参加できた。	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス後のチーム会議を開催出来なかった。 	
当事業所において提供困難なサービスについては他団体を紹介する。そのためにも地域のネットワークを構築する。	紹介できた。		
個人情報保護に取り組みます。	取り組むことが出来た。		

研修報告について

① 必須研修

- 1、介護技術・・・・・・・・ 13名 (出席率 43%)
- 2、コミュニケーション・・ 24名 (出席率 80%)

- ・コミュニケーションへの参加率が昨年 75%から 80%へ上がった。
- ・複数回の開催だったが全員の参加には至らなかった。

② 事前研修について

行えた。

③ 学習会について

- ・月 2 回開催できた (出席率 53%)。
- ・出席者が決まってきた。
- ・2 回目 (第一土曜日の開催が浸透していない)。

3 苦情事故等報告

区分	件数	主な内容
苦情	3 件	サービスの質、 職員の態度
事故	70 件	破損、ケア忘れ、手配違い、遅刻、私物忘れ
ひやり・はっと	5 件	ケア準備品忘れ、

ケアプランサービスりぼん

1、事業報告

① 2007 年度方針達成度

〔利用者の自己決定の支援、尊厳の尊重、本人、家族が望む生活の実現〕

- ・ 課題解決の為、サービス担当者会議を開催しチーム全体で自己決定の支援、望む生活の実現に近づけることが出来た。

② 事業実績

事業名	事業内容	目標担当件数	2007 年度実績	従業員の人数
居宅介護支援	援助計画作成	6 3 6 件	6 2 6 件	常勤 1 非常勤 2
地域援助	相談業務		4 件	同上

③ 評価

目標	評価	課題	対策
特徴ある事業所を目指し地域へアピールすることで事業所の経営維持を図ります。	認知症ケアマネジメントの研修に参加し知識の習得をしました。即、安定した経営維持とはならなかった。	毎月 2 件の新規依頼も順調にあったが、同じ件数の入所入院死亡等により安定した経営維持がむずかしい。	関係機関が増えたことを利用し積極的に営業していく。 又、夫婦で介護度が異なったり、介護度の変化による不都合を解決する為予防プラン委託契約をする。

相談機能の充実を図り適時相談に応じます。	入所した前担当利用者家族からの相談が多くあった。電話、来訪を受け適時相談に当たった。	日常業務が多忙な為相談後、引き続きフォロー出来ない。	今後も気軽に相談できる窓口となり、相談に充分対応出来るよう努力する。
セルフプラン支援を行います。	セルフプランの説明を行ったが実施されなかった。	利用者本人、家族がプラン作成を行うには書類等が多く労力を必要とする。	セルフプランという制度があり、自己実現のためのプラン作成が可能であることを伝える。
利用者が望む生活の確保と尊厳の尊重を為保険者へ提言していきます。	軽度者の福祉用具貸与や家族同居の生活援助導入等の相談を保険者に行った。	毎月のサービス担当者会議開催や主治医の意見を求める為の手続き時間が多くかかる。	確たる根拠を示し、必要と判断したものについては、利用者の不利益とならない様支援する。
インフォーマルサービスや地域力を活用したマネジメントを行い希望を持った楽しい生活が継続できる様支援します。	認知症の家族、利用者を支える為、地域力を活用した。又、閉じこもりの利用者の社会性の復権を目標にチームの力を結集して支援をしました。	地域の力、サービスを開拓していく。	今後もミーティング等で情報の共有化を図り事例検討等で客観的意見を求めあい、問題解決を図ります。

2、研修報告

- ・ケアマネ新人研修（八王子市主催） 新人フォローアップ研修（東京都）
- ・現任研修
- ・認知症ケアを考える（ACT 主催）
- ・認知症になっても大丈夫(ACT 主催)
- ・訪問介護事業所との懇談（八王子市居宅事業所連絡会）
- ・どうなる介護保険（八王子市主催）
- ・コミュニケーションスキルアップ研修（ACT 相互サポート事業主催）
- ・在宅での看取り（東京都介護支援専門協議会）
- ・神経難病の在宅療養を支えるケアコーディネート（八王子市保健所）
- ・後期高齢者保険制度（八王子市主催 東京都主催）

3、苦情事故等報告

区分	件数	内容
苦情	1件	介護保険制度について
事故	0件	

1. 事業報告

① 2007年度方針の達成度

- ・利用者や家族のニーズにできる限り応えることができた。
- ・利用者の状況変化等に関して居宅介護支援専門員との連携が図れた。

② 事業実績

事業名	事業内容	利用者目標延べ人数	2007年実績	従業員の人数
介護保険 予防通所介護	機能訓練 身辺介助等		147件	常勤 1人 準常勤 1人
介護保険 通所事業	機能訓練 身辺介助等	1800件	1201件	非常勤 12人

③ 評価と課題

目標	評価	課題	対策
居宅介護支援事業所との連携をすすめます。	より良いサービスを提供する為に、連携をとることができた。	毎月報告をしていきたい。	日報を活用し、早めに報告をしていく。
コーディネート機能を確立し、利用者、家族の意向をサービスに反映させます。	日々の様子や訪問・電話での聞きとり、またはアンケート調査の結果等、サービスに反映できた。	引き続きアンケートの実施や聞き取りなどでニーズを見極めていく。	職員間で共有し、機能確立をめざす。
利用者の在宅生活が継続できるように支援します。	個別ニーズの把握に努め、必要な支援を行うことができた。	利用者の残存機能を活かし、それに伴う支援を怠らない。	機能維持を心がけ、一人ひとりに合った活動を取り入れていく。
職員別研修等により、サービスの質を高めます。	研修を受けることができ、会議や回覧を通して共有することができた。他施設見学も実施できた。	必要性のある研修の充実に努める。他施設見学や交流を深めていく。	サービスに必要な事前準備を含め、水曜日に積極的に取り入れていく。
ボランティアの活用等、利用者の利益の拡大を図るよう努めます。	ボランティアなど多様な人々との交流を持ち外出の機会を増やすことができた。又、研修生の受け入れも積極的にできた。	地域、近隣との交流をより一層、図っていく。ボランティアの拡大を図り、引き続き外出の機会を多く持てる様にする。	ボランティアのコーディネートの実施を行い、継続ボランティアの確保をしていく。

④ 研修報告

- [外部研修]・ガンバルーン体操 ・地域医療介護と介護保険制度のこれから
 ・言語障害と摂食/嚥下障害 ・高齢者の口腔機能維持、向上について

- ・ソフト食について
- ・状態観察の仕方
- ・ケア者ケア
- ・危機管理
- ・回想法の考え方と活用
- ・指定更新事業者研修会

- [内部研修]
- ・尊厳を守るケア
 - ・自立生活体操
 - ・ノロウィルス対策
 - ・感染症、食中毒予防
 - ・緊急時、災害時対応
 - ・プライバシー保護、個人情報保護
 - ・リスクマネジメント

- [法人研修]
- ・認知症サポーター講座
 - ・認知症を学ぶ
 - ・コミュニケーション技術講座
 - ・応急救護講習会

⑤ 苦情事故等野報告

区分	件数	内容
苦情	0件	
事故	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車輦（急坂下り、バンパーこする） <ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎時、自宅前でふらつき、しりもちをつく ・ 利用料金のつり銭（小銭）の入れ忘れ ・ コタツ周りから針を発見する（スタッフ確認本数より1本多くなってしまう） ・ 棚の上から人形がおちてくる ・ 置き忘れのはさみの上に座ってしまう
ヒヤリハット	7件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車輦（トランクドアを開けたまま発車しようとしてしまう） ・ 車輦（スライドドアがしっかり開いていなかった） <ul style="list-style-type: none"> ・ 座位が保てずすべり落ちそうになる ・ 和室の段差を降りたはずみで倒れそうになる ・ 立ち上がろうとして、棚の取っ手を捕まり、取っ手が開きそうになる ・ 施設から車までの間、歩く速度が違う方の二人介助をしまい対応に困った ・ 千羽鶴つなぎ中、針を見失い慌てる

- ⑥ 人事採用報告
- ・ 介護スタッフ4名
 - ・ 調理スタッフ2名
- ⑦ 研修生受け入れ報告
- ・ 梶田中学校
 - ・ 教職員実習生（工学院大学）

1. 事業内容の実施報告

- ① 子育て親子の交流、集いの場の提供
- ② 子育てに関する相談、援助の実施
- ③ 地域の子育て関連情報の提供
- ④ 子育て及び子育て支援に関する講習の実施
- ⑤ 地域の子育て力を高める取り組みの実施
- ⑥ 子育て及び子育て支援・応援に必要な事業の実施
- ⑦ 利用者満足度調査（アンケート）の実施

2. 職員

- ・ スタッフ 2 、有償ボランティア 7
- ・

3. 利用実績

- ・ 登録者数・・・・・・・・・・668人
- ・ 利用者数累計・・・・・・・・6987人
- ・ 一日平均利用者数・・・・・・・・48人
- ・ 相談件数累計・・・・・・・・169件
- ・ 子育て関連情報の提供・・・・51件
- ・ ボランティアの受け入れ・・・延231人
- ・ 子育て支援講習・・・・・・・・25回（参加者・延458人）
- ・ その他子育て支援に必要な事業・・89回（参加者・延1178人）

4. 苦情・事故・・・・0件

5. 研修報告

- ① 防火管理者講習
- ② 食品衛生管理者講習
- ③ こども支援者研修
 - ・ 家庭の養育力の低下と児童の発達障害への影響（経度発達障害をめぐって）
 - ・ 同上（乳幼児期）
 - ・ 子育て支援の普遍的ニーズと対応
 - ・ 乳幼児の運動発達について
 - ・ 運動発達を促す保育環境とは
 - ・ こどもに寄り添う保育

- 労務管理、財務管理を実施しました。
- 個人情報保護
 - ① 職員向けの教育研修を部門管理者と共に実施しました。
- 安全衛生管理
 - ① 毎月衛生委員会を開催しました。
 - ② 従業員健康状況報告

	件数
労災申請	0
勤務制限必要者	0
休業必要者	3
出勤停止者	0
復職者	1

- 法人主催の研修「コミュニケーションスキルアップ研修」を2回実施しました。
- 研修報告
 - ① A C T事務局長研修
 - ・ A C T年末調整研修
 - ・ 予算決算研修
 - ・ 労務実務研修
 - ② 決算書の見方、読み方研修（商工会議所主催）
 - ③ 指定更新事業者研修会（代表者対象）へ参加

2007 年度活動方針の達成度

地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。その方法として会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます。

／忙しい業務の合間に各々が出来る範囲で会員活動に取り組むことが出来た。

① 地域活動

ACT いきいきサークル支援	「囲碁サロン」「絵画クラブアトリエ友」「すぽっと*ひだまり」「自然と楽しむ会」の4サークルが活動を行った。
広報	年4回、春・夏・秋・冬号を各280部発行。 会員、利用者、行政、地域の関係者、関係団体等加えて「公開講座参加者」に配布した。 メイン原稿は「地域の福祉活動」をテーマに取材を行った。 広報編集作業を有償化したことで作業能率もアップした。が世話人はボランティアでの活動のため作業時間に限界があり、役割を十分果たせたとはいえ切れない。今後の課題である。
ACT 公開講座	ACTと連携し公開講座を実施した。テーマは 認知症ケアを考える「私は心もからだも生きています！」 同時に地域包括支援センター高尾との共催で、「認知症が ^り ター養成講座」を開催し多くのメンバーがサポーターとなった。
障害者就労支援	実施できなかった。
出前介護教室	実施しなかった。
交流会「結びの会・りぼん」	10月27日実施。 45名の参加があり、職員、利用者だけでなく地域の方々の協力、参加で親睦を深めることができた。
被災地等への寄付金活動 (いちよう祭りでのバザー)	いちよう祭りの市民活動協議会「わくわくひろば」に参加し、収益金14,239円をショッパー社を通じ上越地震被災地に寄付した。
在宅心身障害者緊急一時保護登録支援	登録支援回数 30件
まちづくり市民運動・政策提言	ACT、八王子障害者団体連絡協議会、夕焼けの里地域福祉フォーラム、生活クラブ運動グループ八王子地域協議会、八王子市民活動協議会等と連携し、共通課題について政策提言を行った。又まちづくりの活動を行った。

② 法人内活動

ひだまりの家支援	畑・花壇作りを積極的に行い、利用者に喜んでもらうことができた。 話し相手などの登録ボランティア活動も活発に行い、利用者に喜んでもらうことができた。
介護サービスりぼん支援	実習生研修時のボランティアを2回実施した。現役ヘルパーを交えて行うことで、チームケア・実習をより具体的に行うことができた。
救急救命講習会	11名の参加で、心肺蘇生の必要性・心肺蘇生法の体験・AEDの体験をすることができた。

． 2007年度決算報告の件

別紙参照

． 2007年度監査報告

別紙参照

第2号議案 2008年度方針案及び事業計画案及び収支予算案の件

I. 2,008年度方針案

○ NPO市民ユニトリぼんの目的

市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

○ 市民によるたすけあいの理念とは

- ・ お互いの尊厳を尊重し、たすけたり、たすけられたりという相互扶助の精神を大切にします。
- ・ 「どんな状況においても自分のことは自分で決める」という自己決定を尊重します。
- ・ 自分の常識にとらわれず、多様な方法で問題解決を図ります。

○ 経営理念

自分自身が利用したいと思えるサービス事業者を目指します。

- ・ 経営基盤を確立し安定した経営を目指します。
- ・ 利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・ 利用者や家族が安心して生活できるよう支援します。
- ・ 地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行うなど、地域との交流を推進し、地域福祉サービスの拠点を目指します。

■ 安定した経営基盤の確立をめざします。

平成2006年4月の介護保険改正以降、利用の適正化が図られた（実質、利用に制限が加えられ）ことが影響して訪問介護部門においては、介護保険の利用が伸び悩みました。それに反比例してACT自立援助サービスの利用が増大しました。新たに2008年4月から始まった後期高齢者医療制度の影響を受けて、介護保険事業だけでなく自立援助サービスの利用の縮小につながることも今後十分考えら、総体的に事業の拡大は困難な見通しです。しかしながら依頼を確実に受けていくことで昨年度並の事業計画を推進していきます。

ACT自立援助サービス事業は収益の見込めない事業であることから、今後も介護保険事業および障害福祉サービス事業とのバランスを取りながらの経営を余儀なくされる状況にあります。理念に基づき双方の事業を両立させていくために、有資格者だけでなく無資格の登録ヘルパー数も増やして行きます。

居宅支援部門では予防プラン、他市の認定調査を行うことで経営安定を図るとともに、画一的制度にしばられず利用者側に立った支援を行っていきます。

通所介護部門は2007年度以降小規模型通所介護事業所が増え、利用者の選択の幅が広がってきています。当施設は入浴サービスがないため他の施設と併用し利用されている方や、比較的介護度の高い方の利用が増えています。個別対応の充実や活動の充実なども含め、質の高いサービスが求められています。

経営の安定の為に、各事業部門とも「特色ある良質のサービス」を提供していく必要がこれまで以上に求められています。

数量的な目標を設定し、100%の達成を目指します。

■ サービス提供体制の充実を図ります。

- 「チーム会議」「職員会議」「部門ミーティング」等を十分に機能させ職員間のコミュニケーションを図ることで、働きやすくやりがいのある職場を目指します。
- 法人各事業所共通の「ケアサービスの質の向上」をめざし関連部門と連携をとりながら、スピーディな決定と実行をめざします。
- 各事業所の経営体制を安定させるため、理事会および理事運営会議、管理者会議において、各事業所の経営状況を把握、分析を行い経営改革を迅速に行います。
- 苦情及び事故等の処理を円滑かつ迅速に行うために苦情事故等検討委員会を開催し、再発防止することでケアサービスの質の向上を目指します。
- 個人情報保護に取り組みます。
- 介護サービス情報の開示を実施します。
- 職員の意識改革と資質の向上（各種研修への積極的参加により各職種ごとのスキルアップを図る）を図ります。
- 法人主催ですべての職種に共通した研修を実施します。
- 職員の健康に配慮し、より良いサービスの提供に努めます。

■ 「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンに賛同し、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」のための活動を推進します。

- 地域包括支援センター等と連携し、認知症になっても安心して暮らせる町づくりに取り組みます。

II. 2008 年度事業計画案

介護サービスりぼん・ACTたすけあいワーカーズりぼん

1、事業内容：介護保険予防給付事業、介護保険介護給付事業

障害福祉サービス

八王子市移動支援事業

自立支援事業（ACT 提携事業、クリーン隊）

1、月次目標時間数 介護保険・450 時間/ 障害者福祉サービス 350 時間/ 移動支援・20 時間
ACT・200 時間

2、従業員数/常勤 3名, 準常勤 2名 コーディネーター 2名 登録 30名

3、事業運営方針

- ・ 本人の望む在宅生活の理解と支援を行います。
 - ・ 本人が安心して介助を受けられるよう、介護技術の獲得を目指します。
 - ・ 責任ある労働を提供します。
- (1) 責任あるサービスを行います。
- ①危機管理、危険管理、課題解決
 - ・ 事故報告、ひやりはっと報告の推進をはかり、解決方法を全員で共有します。
 - ・ ケア予定の事前チェックを行います。
 - ・ 仕事カードなど情報の更新を適時速やかに行います。
 - ②職員の働きやすい環境整備
 - ・ 新規ケア開始時、メンバー交替時に事前研修を実施します。
 - ・ サービス提供責任者に相談しやすい雰囲気を作ります。
 - ・ 職員の労働状況等を把握するために個人面談を実地します。
 - ③人員の確保
 - ・ ケア調整を公表し登録ヘルパーの参加を試みます。
- (2) 職員の介護技術及び問題意識向上を目指します。
- ・ 事業所の年間計画、職員個別の研修計画を作成、計画に基づいての受講の推進を図ります。
 - ・ 学習会を通して知識、技術の向上を図ります。
 - ・ 必須研修のテーマについては複数回取り組み、技術、知識の定着を図ります。
- (3) 利用者のニーズを適確に介護計画に反映し、目標達成を目指します。
- ・ サービス担当者会議後、10 日以内にチーム会議を開催します。
 - ・ 介護計画作成のためのチーム会議を開催できるよう努めます。
 - ・ 状況変化、ケア目標の共有が常に出来るようチーム会議を開催します。
- (4) 課題について「サービス担当者会議」等で共有し、解決に努めます。
- ・ 必要があれば当事業所から「サービス会議の開催」を要請します。
 - ・ 利用者の状況報告を書式にて毎月報告し、状況に変化があった場合は適時ケアマネに報告します。
- (5) 当事業所において、提供困難なサービスについては他団体を紹介します。
- ・ 公共機関や、インターネットを活用し地域のネットワークを構築します。
- (6) 個人情報保護に取り組みます。
- ・ 法人の個人情報保護方針にそって取り組みます。

- 1、事業内容：介護保険居宅支援事業（介護プラン、予防プラン、認定調査）
 - 2、目標担当件数：63 件/月（介護プラン） 管理者 22 件 常勤 26 件 非常勤 15 件
20 件/月（予防プラン） 管理者 8 件 常勤 8 件 非常勤 4 件
5 件/年（認定調査）
 - 3、従業員：3 名
 - 4、事業所運営方針
 - ・介護保険基本理念である利用者の自己決定の支援、尊厳の尊重を常に念頭におき支援をします。
 - ・利用者、家族が望む生活が実現できる様、チームアプローチを充実し支援します。
- (1) 従業員の精神的、身体的健康を守りつつ、安定した事業運営を目指します。
要介護者、主介護者の精神的、身体的状況により収入の不安定さはあるが、介護プラン月平均 720000 円 予防プラン月平均 72000 円の収入を維持し、努力、工夫を図り経費の削減に取り組みます。
 - (2) サービス提供体制強化のための方策
 - ・「特徴ある事業所」を目指し地域へアピールすることで事業所の経営維持を図っていきます。
 - ・相談機能の充実を図り地域に根ざした事業所を目指します。
 - ・地域包括支援センターと予防プランの委託契約をし、高齢者世帯の支援に取り組みます。
 - ・セルフプランの説明を行い、希望があれば支援していきます。
 - ・八王子市居宅支援事業所連絡会と連携し利用者が望む生活の確保と尊厳の尊重の為、保険者へ提言していきます。
 - (3) サービス質の向上
 - ・事故、苦情、ヒヤリはっと例を事業所内で共有し再発を防ぎます。
 - ・評価アンケート（年 1 回）自己評価（年 1 回）を実施し、質の向上に努めます。
 - ・「特徴ある事業所」として認知症支援やターミナルケアの知識習得の為、研修参加、事例検討等を行い研鑽に努めます。
 - ・利用者が出来る事の評価をし、能力を生かしたマネジメントを行っていきます。
 - ・インフォーマルサービスや、地域力を活用したマネジメントを行い希望を持った、楽しい生活が継続できる様、支援します。
 - ・予防マネジメント、認定調査の研修に参加します。
 - (4) 職員の処遇
 - ・健康管理 健康診断の実施 有給休暇の消化
 - ・会議 朝（又は昼休み）の 5 分間ミーティング、月 1 回の業務会議を実施し、情報の共有化を図り、客観的な視点で支援が行える体制を目指します。
 - ・研修 現任研修 認定調査研修 予防マネジメント研修
八王子市居宅支援事業所連絡会主催研修
ACT 主催研修
外部研修
 - ・地域包括支援センターや居宅支援事業所連絡会と連携し、積極的に助言を受けます

1. 事業内容 : 介護保険予防給付事業・介護保険介護給付事業
2. 利用定員 : 15名/日
3. 目標利用者数 : 9名/日
4. 従業員数 : 常勤1名、準常勤1名、非常勤12名 (介護スタッフ:7名
調理スタッフ:3名 ドライバー:2名)
5. 施設運営方針 :
 - ・ 利用者の在宅生活が継続できるよう日中の生活を支援します。
 - ・ 小規模施設を活かし、家庭的な施設を目指します。
 - ・ ケアマネージャーとの連携をすすめます。
 - ・ 職員間の連携を図り、サービスの向上に努めます。
 - ・ アンケート調査を実施し、利用者及び家族の意向を反映していきます。

6. 主な行事予定

4月	花見・	8月	納涼祭	12月	クリスマス会・忘年会
5月	新緑巡り・避難訓練	9月	敬老の祝い	1月	新年会・かるた大会
6月	音楽会・梅干漬け	10月	室内運動会	2月	豆まき・味噌作り
7月	七夕まつり	11月	文化祭・避難訓練	3月	雛祭り・寄席

*毎月おやつ作りを行います (桜餅・草もち・酒饅頭)

*お誕生会は誕生日に合わせて、一人ずつ祝います

7. 栄養管理 :

- ・ 管理栄養士による献立作成を実施します。
- ・ 季節の素材を取り入れ、個別対応もできる限りしていきます。
- ・ 個々の誕生会メニューや行事メニューを取り入れます。

8. 安全衛生管理 :

- ・ 手洗い・うがいを徹底し感染予防に努めます。
- ・ 食品等の衛生管理に努めます。
- ・ 調理スタッフの年4回の検便を実施します。

9. 危機管理 :

- ・ ヒヤリハットを見落とさず、報告していきます。
- ・ 事故、ヒヤリハット報告を共有し事故の再発防止を徹底します。
- ・ 職員間の連携に努めます。(日報・連絡票・休憩室掲示。会議)

10. 災害対策 : ・ 避難訓練 年2回 ・ 防災訓練 年1回

11. 地域社会との連携 :

- ・ 利用者のニーズに応え、地域や他団体との交流を深めます。
- ・ 内容を具体化し、多様で継続的なボランティアの確保に努めます。
- ・ 研修生や実習生の受け入れを積極的にしていきます。

12. 職員の処遇

- (ア) 健康管理 : ・ 健康診断/年1回 ・ 検便/年1回
(イ) 会議 : ・ 職員会議 月1回 ・ サービス会議 月1回

- ・ドライバー会議 随時
- ・ACT 通所会議 年4回
- (ウ) 研修計画：
 - ・応急救護研修
 - ・コミュニケーション技術研修
 - ・他施設見学研修
 - ・感染症について
 - ・レクリエーション研修等
- 13. 施設管理：
 - ・大掃除／年2回
 - ・車いす、備品等の点検／随時
 - ・庭の手入れ／月1回

八王子市親子つどいの広場夢きっず

1. 事業内容・方針
 - ・概ね3歳未満の乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合い、交流できる場所を提供します。
 - ・子育ての不安や心配事の相談を受け、必要に応じて専門機関等に繋いでいきます。
 - ・地域の中に子育て応援機能の充実を図ります。
 - ・**2008年度は、その他事業として収益性のある事業の展開を模索します。**
2. 開所日・時間

月曜日～土曜日（祝祭日を除く）の午前10時～午後4時
3. 従業員

常駐スタッフ 3名 及び ボランティアスタッフ
4. 職員の処遇
 - ・健康管理：健康診断／年1回
5. 会議を以下のとおり行い、職員的意思疎通を図ります。
 - ・スタッフミーティング 月1回
 - ・相談内容への対応検討会議 随時
6. 地域の子育てネットワークの構築を目指します。
 - ・子育て支援地域ネットワーク会議への参加 年1回
 - ・子育て支援ボランティア Be ネットの受け入れを積極的に行い、地域のボランティアの活動の場を提供します。
7. 研修を積極的に参加し自己研鑽に努めます。
 - ・法人研修への参加
 - ・乳幼児の心肺蘇生講習
 - ・発達心理・運動発達についての外部研修を随時受講
 - ・子ども支援者研修（毎月）

- 法人の円滑な労務管理、財務管理を目指します。
- 法人の円滑な運営の充実を目指します。
 - 1、個人情報保護に取り組めます。
 - ・ 情報セキュリティ委員会を随時開催します。
 - ・ 職員向けの研修を各部門管理者と共に開催します。
 - 2、安全衛生管理に努めます。
 - ・ 毎月衛生委員会を開催します。
 - ・ 従業員の勤務時間の管理を徹底します。
 - ・ 従業員の健康を維持するために定期健康診断受診を促進します。
 - ・ 従業員の健康状況を各部門管理者から報告を受け把握します
 - 3、ネットワーク活動を推進します。
 - 4、法人主催の研修を実施します。

会員活動部門

地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます。

①地域活動

- ◇ ACT 公開講座を地域で実施します。
- ◇ 「ACT いきいきサークル」の活動を推進します。
- ◇ 地域の他団体の活動の場として、ひだまりの家を提供していきます。
- ◇ 障害者就労体験の場を提供します。
- ◇ 広報紙を継続して発行します。
 - ◎広報紙「おなはしりぼん」
 - ア. 会員及び地域に向けて、年4回発行します。
 - イ. 法人からの情報発信及び地域の福祉活動を取材し情報提供していきます。
 - ◎ホームページで広く法人の活動を広報していきます。
- ◇ 出前介護講習
在宅介護初心者の自宅に出向いて介護方法等の講習を行い、介護者を支援していきます。
- ◇ 在宅心身障害者緊急一時保護制度が利用できるよう会員の介護人登録を推進します。
但し「コーディネート」は行わない。
- ◇ 交流会「結びの会・りぼん」
りぼん会員、ACT会員、利用者、業務職員の垣根を越えての交流会を実施します。
- ◇ 被災地等への寄付金活動
いちよう祭り等を活用して、バザー等の売上金を寄付する活動を行います。

◇ 市民運動・政策提言

◎地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等を定例会等で話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会と連携して課題に取り組んでいきます。

◇ 他団体と共に地域福祉の向上及びまちづくりのための政策提言活動を行います。

◇ 地域包括支援センター等と連携し、「認知症を知り、地域をつくる 10 年計画」を推進します。

◇ 子育て支援のボランティアを推進します。

②法人内活動

◇ ひだまりの家支援を行います。

◎庭作り支援ボランティア

◎登録ボランティア

◇ ホームヘルプ部門支援をします。

◎ヘルパースキルアップ支援（勉強会、ワポイト実技ボランティア）

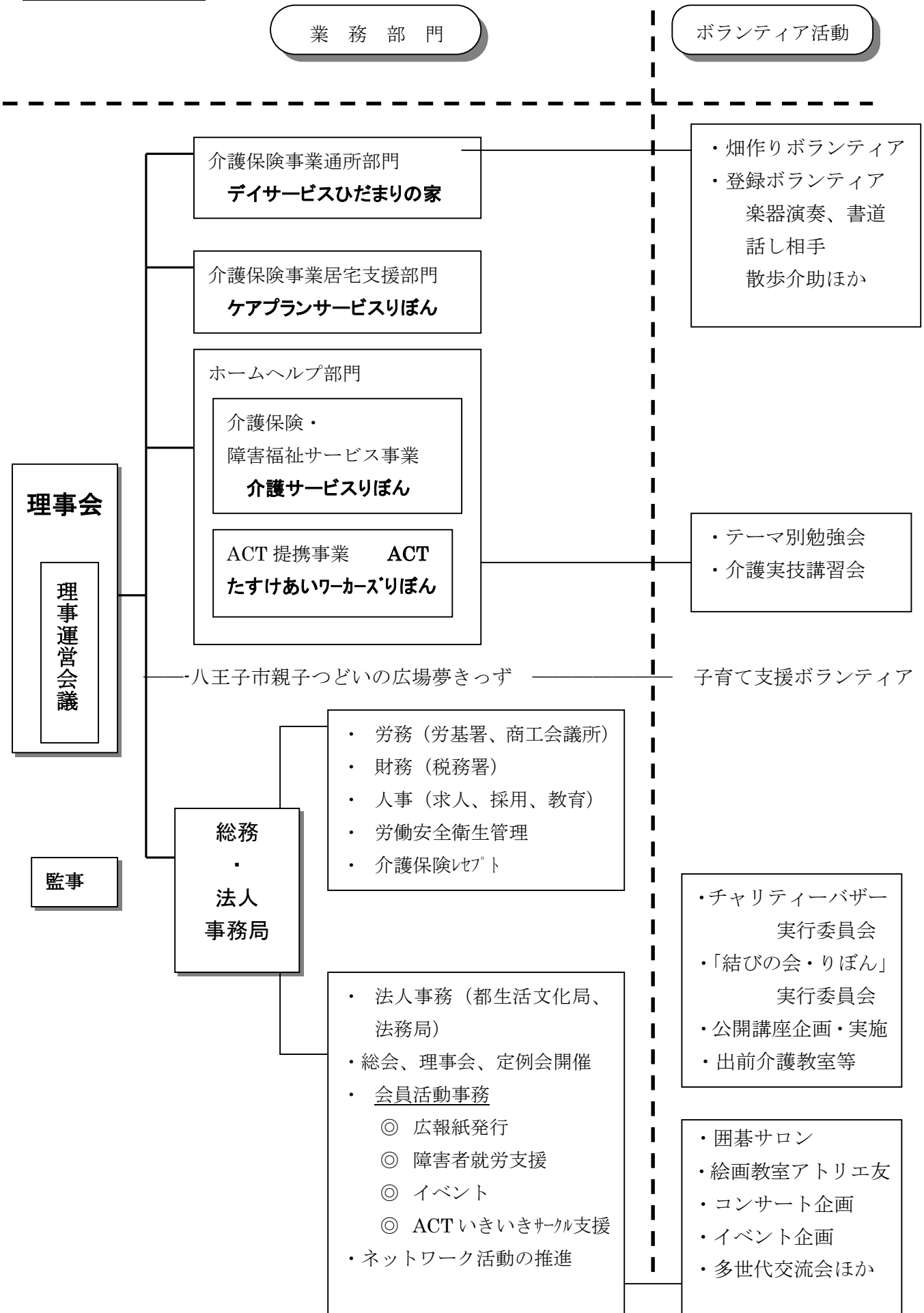
◎実習生研修時のボランティア

◇ 救急救命講習を実施します。

◇ 子育て支援のボランティアを推進します。

***** 2008 年度 年間行事（日程、内容は変更することもあります） *****

月	内 容	ボランティア 募集人数
4 月	広報春・夏・秋・冬号	広報世話人
5 月	2008 年度総会后交流会実行委員会	
6 月	実習生研修時ボラ / 6 月 26, 27 日	人
7 月		
8 月	ACT 公開講座 7 月及び 9 月	3 人
9 月		
10 月	地域交流会「結びの会・りぼん」	5 人
11 月	被災地寄付金活動（いちょう祭り）	8～10 人
12 月		
1 月	実習生研修ボラ / 1 月 22, 23 日	人
2 月	救急救命講習	2 人
3 月		
4 月		
5 月	2009 年度総会后交流会実行委員会	5 人
<ul style="list-style-type: none"> ・すぽっと*ひだまりイベント登録ボラ 3 人 ・「ひだまりの家」庭作りボラ 5～10 人 ・「ひだまりの家」登録ボラ 3～5 人 		<ul style="list-style-type: none"> ・実習生研修時ボランティア 3 人 ・介護サービス実技ボラ 2 人 ・親子つどいの広場ボラ 人



2008年予算(案)の件

別紙参照

第3号議案 理事の選任・辞任件

選 任 神前 博

 内田 富美子

辞 任 平野 みよ子

 稲田 広子

第4号議案 代表理事報酬の件

代表理事報酬額 108,000 円／月

代表理事 20,000 円

つどいスタッフ給与 88,000 円